

山本修之助 （佐渡） 郷土史家、俳人、詩人。明治二十六年一月一日新潟縣佐渡郡真野村生れ、平成五年一月二十五日歿（一九三一九三）。大正十年佐渡中學校を中途退學後潮光詩社を結成して雑誌『潮光』創刊。十一年金子不泣等と純藝術社を興し、翌年雑誌『純藝術』を創刊。のち俳句の傾き、昭和二十一年雑誌『はまなす』を創刊。この間郷土研究の勤し^{いそ}み、二十八年佐渡史學會發足後長久間會長を務めた。詩集、句集の他、佐渡關係論著多數ある佐渡研究の第一人者。

著書『佐渡の民謡』（昭和五年八月二十日地本社書房）、『佐渡郷土文學選』（昭和七年十二月一日、普及版・九年七月一日新潟・佐渡郷土研究会）、『文學のなかの佐渡』（昭和五十一年二月二十五日新潟・佐渡郷土研究会）等。『遺傳山本修之助』（山本修巳編、平成七年一月二十五日新潟・佐渡郷土文化の会）がある。

